日本移民学会

第 27 回年次大会プログラム

大会開催日時:2017 年 6 月 24 日(土)、25 日(日)
会場:東洋大学　白山キャンパス　6 号館
(東京都文京区白山 5-28-20)

問い合わせ先

【大会企画委員会】 野入直美
(E-mail) iminkikaku@gmail.com
【大会校担当者】 高橋典史(東洋大学)
(E-mail) 2017jamstoyo@gmail.com

■ **大会第 1 日目：6 月 24 日（土）**（　）内は会場

10:30 ～ 11:30	**四役会議**（6208 教室）
11:30 ～ 12:30	**理事会**（6208 教室）
12:30	**受付開始**（3 階サブエントランス）
13:00 ～ 17:00	**大会シンポジウム（共催：東洋大学アジア文化研究所）**（6209 教室） テーマ：「子どもと移民」 司会：野入直美（琉球大学） 報告：山田亜紀（筑波大学）、拝野寿美子（神奈川大学）、安場淳（中国帰国者支援・交流センター） コメント：田嶋淳子（法政大学）
17:15 ～ 18:00	**総会**（6209 教室）
18:30 ～ 20:30	**懇親会**（2 号館 16 階 スカイホール）

■ **大会第 2 日目：6 月 25 日（日）**

9:00 ～ 9:30	**理事会**（6216 会議室）
9:00	**受付開始**（3 階サブエントランス）
9:30 ～ 12:05	**自由論題報告　4 会場**（詳細は別掲）
12:05 ～ 14:00	**休憩**
14:00 ～ 16:00	**パネル部会　2 会場（共同研究発表・書評セッション**　詳細は別掲）
14:00 ～ 15:30	**ラウンドテーブル　1 会場（萌芽的共同研究発表・ワークショップ**　詳細は別掲）
16:10 ～ 17:00	**理事会**（6216 会議室）

＊大会期間中、井上円了記念博物館にて東洋大学の学祖である井上円了の海外日系移民関連の資料展示を

行います。（開館時間：24 日…9:30～16:45、25 日…12:00～16:45）

◆大会シンポジウム「子どもと移民」

トランスナショナルな人の移動において、「子ども」をめぐるさまざまな現象が顕在化してきている。日本語教育や異文化間教育が「教育」「ことば」「支援」の文脈、さらには「越境家族」「移動する子どもたち」という枠組みを構築してきたが、移民研究は「子ども」をめぐる事象や問題群にどのようにアプローチできるのだろうか。シンポジウムでは、「移民の子ども」を対象とした研究や支援だけでなく、「子どもをめぐる移民研究」を射程に含めて、子どもという着眼点から移民研究のさらなる可能性について議論する。

大会企画委員長　野入 直美

新しい日系アメリカ人の顔：新一世両親による新二世児童に対する教育ストラテジー、ロサンゼルスにおける新日系コミュニティーの事例を中心に

山田亜紀（筑波大学）

日本における「移民の子ども」研究の動向－「ブラジルにつながる子ども」研究の事例を中心に－

拝野寿美子（神奈川大学）

「高校入試の外国籍生徒特別措置・枠の全国調査」と支援者間ネットワーク

安場 淳（中国帰国者支援・交流センター）

コメント　　田嶋淳子（法政大学）

◆自由論題報告

A 会場　（6205 教室）	司会：小島祥美、高畑幸
9:30-10:05 劉 昊（早稲田大学・院）	中国人ニューカマーとしての「私」の自己実現物語 ―オートエスノグラフィーを手がかりに―
10:10-10:45 リーペレス・ファビオ （東北大学・院）	移動する個人にとって他者性とは何か： 反省的オート・エスノグラフィーの試み
10:50-11:25 小波津 ホセ（宇都宮大学・院）	出稼ぎ労働者の子どもにみられる進学への向上意欲とその要因： ペルー人第 2 世代の不協和型文化変容の検証
11:30-12:05 張 龍龍（早稲田大学・院）	在日中国残留孤児二世のネットワーク・コミュニティに関する考察 ―M 女子会の形成過程を事例に

B 会場　（6206 教室）	司会：石田智恵、栗田知宏

9:30-10:05 具 美善（一橋大学・院）	韓国の「多文化家族支援センター」における結婚移住女性に対する韓国語教育―「隠れたカリキュラム」を中心に―
10:10-10:45 山本 剛（早稲田大学・院）	移民国家レバノンが直面する難民問題―移動する人々の統合
10:50-11:25 グスターボ・メイレレス （神田外語大学）	ルーラ政権における在外国民政策： 在外ブラジル人の活動の歴史的変遷
11:30-12:05 フランシス・ペディ（名古屋大学）	Transnational Migration as a Family Livelihood Strategy: case study of the Sombilla family, Municipality of Rizal, the Philippines

C 会場　（6212 教室）	司会：坂口満宏、田中直樹
9:30-10:05 中山 大将（京都大学）	近現代東アジア境界地域における残留現象の比較相関研究
10:10-10:45 李英美（一橋大学・院）	1950 年代における大村収容所の「収容」と「釈放」 ―在留特別許可・仮放免の運用を中心に―
10:50-11:25 小川 俊輔（県立広島大学）	サンフアン日本人移住地における「キリシタン移住者」の信仰生活発展史
11:30-12:05 長村 裕佳子（上智大学・院）	ブラジルにおける日本人移民子弟の政治参加 －戦前の一世の思想と戦後の二世の社会進出―

D 会場　（6213 教室）	司会：庭山雄吉、小澤智子
9:30-10:05 尾上 貴行（天理大学）	戦時強制収容と天理教 ―北米における天理教布教師たちの抑留体験
10:10-10:45 和泉 真澄（同志社大学）	ある帰米二世によるツールレイク隔離収容所監房獄中記の分析
10:50-11:25 柏尾 有祐（立命館大学・院）	ポスト９１１の時代における、日系人のみを扱った文学作品への新しい視点―強制収容所の描写と建てられた土地の歴史から―
11:30-12:05 安藤 幸 （奈良先端科学技術大学院大学）	Dietary Adaptation of Japanese Immigrant Families and Children in the US

◆パネル部会・ラウンドテーブル

パネル A　（6218 教室）

「日系コミュニティと民族アイデンティティの変容過程の考察
―日系組織、社会経済的水準、文化継承の視点から」

代表者：足立 伸子（イリノイ州立大学）

日系人意識の再構築－日系インドネシア人の日本出稼ぎと日系人組織との関わりから
伊藤 雅俊（日本大学）

合衆国西部・非西部地域における日系アメリカ人男性の社会経済的水準に関する量的考察
武井 勲（日本大学）

南米日系人社会の変化と日本文化の継承
－ボリビアのサンファン移住地とブラジルのトメアス移住地の事例から
福井 千鶴（日本大学）

「でもそれ私達の母語ですが！」：日系ブラジル人コミュニティで話されている日本語 （ “But It’s Our Mother Tongue!”: The Japanese Language Spoken in a Japanese Brazilian Community ）
足立 伸子（イリノイ州立大学）

コメント　　吉田 正紀（日本大学）

パネル B　（6219 教室）

「引揚研究の可能性を探る
－今泉裕美子ほか編(2016)『日本帝国崩壊期「引揚げ」の比較研究』を手掛かりに」

司会・モデレーター：蘭 信三（上智大学）

はじめに―「引揚げ」という問いのたて方　蘭 信三（上智大学）
近代日本の移民・植民と「引揚げ」　塩出 浩之（琉球大学）
東アジアにおける境界変動と人口移動の中の日本人引揚げの位置　中山 大将（京都大学）
引揚げと戦後アジアの人の移動　佐原 彩子（大月短期大学）
コメント　　木村 健二（下関市立大学）

ラウンドテーブル　（6203 教室）

「港湾都市と複数の移住者たち：長崎・神戸・横浜を事例として」

モデレーター：栢木 清吾（神戸大学）

ポートシティ長崎における「交渉」と記憶――取り締まり、労働、多文化状況
ケイン 樹里安（大阪市立大学）

ミナトから消える外国人船員―――海運業のグローバル化と横浜・神戸の風景　栢木 清吾（神戸大学）

湊川ジャンクション――神戸長田に共在する複数の移住者たちの記憶と記録
稲津 秀樹（鳥取大学）・野上 恵美（神戸大学）・本岡 拓哉（立正大学）

ディスカッサント　　中西 雄二（東海大学）

■大会への出欠について

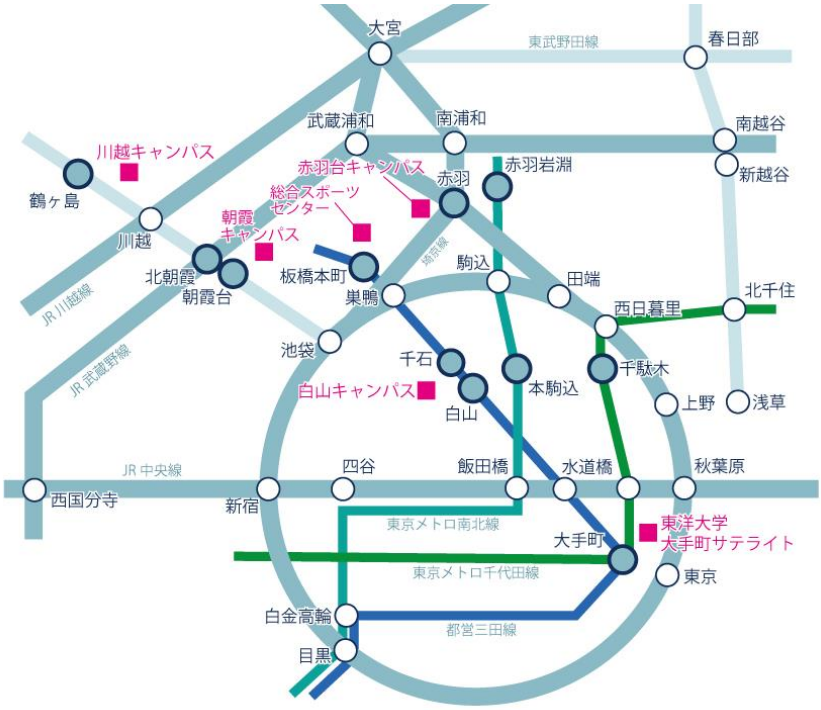
第 27 回大会、大会懇親会の出欠は、日本移民学会 HP トップページの「日本移民学会第 27 回年次大会参加フ

ォーム」にて、2017 年 6 月 15 日までに登録して下さい。
日本移民学会 HP:　http://imingakkai.jp

※上記参加フォームを利用できない場合は、次の情報を開催校（FAX 番号:03-3945-7626）までFAXで送信して下さい。（お名前、所属、会員種別、連絡先、大会出欠、大会懇親会出欠）。　宛先: 東洋大学社会学部 高橋典史

■昼食について
・6 月 24 日（土）は開催校の食堂、または近辺の飲食店をご利用下さい。
・6 月 25 日（日）は開催校の食堂が休みです。近辺の飲食店をご利用ください。
・会員交流スペースを 6215 教室に設けています。会員のみなさんの抜き刷りやチラシなどを置くことができます。また、クロークは 6214 教室です。
・会員交流スペースのほか、会場となる各教室内でも飲食可能です。

■会場案内図



・最寄駅から白山キャンパスまでの経路

(1) 都営地下鉄三田線白山駅

「正門・南門」A3 出口より徒歩 5 分

「西門」A1 出口より徒歩 5 分

(2) 東京メトロ南北線本駒込駅

「正門」1 番出口より徒歩 5 分

(3) 都営地下鉄三田線「千石」駅

A1 出口から「正門・西門」徒歩 7 分